

第4回 信長の台所歴史検定「津島の達人」試験問題

※設問【1】から【45】は、ア・イ・ウ・エから正しいものを一つ選んで、解答用紙欄に記入してください。

【1】津島市の無形民俗文化財に指定されている「七福神踊」は、江戸時代後期に始まった。この「七福神踊」は、市内のどの地区で伝承されているか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 中野町 イ 上河原町
ウ 米之座町 エ 埋田町



【2】津島に伝わる『浪合記』は、南北朝時代後の皇子・尹良（ゆきよし）親王とその嫡子である良王君（よしたかきみ）の生涯についての物語である。良王君はある天皇の曾孫（ひまご）にあたる。その天皇を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 醍醐天皇 イ 鳥羽天皇 ウ 後醍醐天皇 エ 後村上天皇

【3】野口米次郎は 1875 年（明治8）に津島村中島（本町四丁目）で生まれた。1893 年に渡米し、詩人として活躍した。1904 年に帰国後、ある大学で教鞭を撮った。その大学を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 東京大学 イ 名古屋大学
ウ 早稲田大学 エ 慶応義塾大学



【4】清林館高校の今市場通りに面した場所には、江戸時代初期に尾張藩の役所が置かれていた。その役所の名を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 代官所 イ 町奉行所 ウ 村会所 エ 関所

【5】尾西鉄道は、蒸気機関車で津島と弥富とを結ぶ鉄道を開業したのち、一宮へ延線した。津島と弥富間を蒸気機関車で営業開始したのは、何年であったか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 1898 年（明治31年）
イ 1908 年（明治41年）
ウ 1928 年（昭和3年）
エ 1948 年（昭和23年）



【6】江戸時代から津島の名産品で、津島牛頭天王社ゆかりの縁起菓子は何か、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア あかだ イ だんじり最中 ウ 五平餅 エ みたらし団子

【7】1964年（昭和39）に調査された津島市にある弥生時代の遺跡を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 蛭間遺跡 イ 唐臼遺跡 ウ 寺野遺跡 エ 愛宕遺跡

【8】浄土宗の西光寺（津島市米之座町）にある県指定文化財に指定されている仏像を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 地藏菩薩像 イ 阿弥陀如来像 ウ 十一面観音像 エ 不動明王像

【9】室町時代の著名な連歌師（れんがし）が、当時の津島について書いた書物がある。その書物を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 海道記 イ 東関紀行 ウ 浪合記 エ 宗長手記

【10】室町時代に連歌の興行などが催された古寺は、勝幡城の織田家の賓客（ひんきやく）の宿坊（しゆくぼう）でもあった。その古寺の現在の寺名を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 不動院 イ 雲居寺
ウ 成信坊 エ 教津坊



【11】国指定重要文化財の堀田家住宅（津島市祢宜町）は、江戸時代のいつごろ建てられたか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 慶長年間（1596～1615年） イ 寛文年間（1661～1673年）
ウ 正徳年間（1711～1716年） エ 天保年間（1830～1844年）

【12】豊臣秀頼（とよとみひでより）が、1598年（慶長3）に父の秀吉の病気が治ることを祈願して寄進した建物が津島神社にある。その建物を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 楼門 イ 南門 ウ 本殿 エ 弥五郎殿

【13】神守出身である国学者・石原正明は江戸の国学者 塙保己一（はなわほさいち）のもとで、日本最大の国書といわれる書物の編纂（へんさん）に携わった。1819年（文政2）に完成したその書物を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 張州府志 イ 群書類従 ウ 古事記伝 エ 徳川実紀

【14】 戦国時代には篠田左衛門が築城した宇治城があった。一時、織田信長の弟 長益が支配したと伝えられる。その城跡に建てられた寺院を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 福祐寺 イ 蓮華寺
ウ 大徳寺 エ 西運寺



【15】 1872 年（明治 5）に学制が公布される以前の明治初期に、愛知県や岐阜県でつくられた民間の簡易初等学校は何と呼ばれたか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 義校 イ 藩校 ウ 尋常小学校 エ 国民学校

【16】 織田信長が桶狭間の戦いの前に必勝を祈願した神社はどこか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 熱田神宮 イ 国府宮 ウ 針綱神社 エ 那古野神社

【17】 織田信秀の死後、1552 年（天文 21）夏、清須城主 織田信友方が海東郡にあった信長方の深田城・松葉城を攻めて、占拠したことで戦さが始まった。信長は守山城にいた叔父 信光の軍と稲葉地で合流、庄内川を越えて清須、大治、松葉方面に押し出し、清須城をでた信友軍と激突、4 時間に及ぶ激戦の末、信長軍が勝利した。この合戦は何とよばれているか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 蟹江合戦 イ 萱津合戦 ウ 甚目寺合戦 エ 庄内合戦

【18】 勝幡に本拠地をおいた織田信定・信秀の官名（かんみょう）を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 伊勢守 イ 大和守 ウ 弾正忠 エ 修理大夫

【19】 手習い所（てならいどころ）とは江戸時代の寺子屋のことである。愛知県下で戦国時代からあった最も古い寺子屋（てらこや）とされる津島市内の寺院を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 弘浄寺 イ 妙延寺 ウ 瑞泉寺 エ 蓮台寺

【20】 賤ヶ岳（しずがたけ）の七本槍（しちほんやり）の一人は津島衆で、気性が激しく、秀吉に逆らったため、冷遇されたといわれている。1600 年（慶長 5）の関ヶ原の合戦には、迷わず徳川家康側についたため家康から大和国田原本で 5000 石を安堵された。この津島衆の名を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 大橋茂右衛門 イ 服部小平太 ウ 堀田正盛 エ 平野長泰

【21】「津島の8分通り、500 軒余り焼失」、津島天王祭の車楽・大山・祭道具も焼失した江戸時代のこの大火は何年におきたか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 1618年（元和4） イ 1747年（延享4）
ウ 1833年（天保4） エ 1851年（嘉永4）

【22】村の土地を共有とし、一定期間を限って村人に耕作地をクジなどで決めて、期間が過ぎると割り当てなおした制度は、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 地割 イ 田分 ウ 神籤田 エ 車田

【23】現在の津島市の面積は約何 km^2 か、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 20 km^2 イ 25 km^2 ウ 30 km^2 エ 40 km^2

【24】1889（明治22）に、市制・町村制（明治の大合併）が施行され、全国で村々が合併した。神守地域では、5ヶ村が誕生した。神守村・野間村・益和村・越治村と、もう一つの村名を、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 百高村 イ 牧葉村 ウ 神島田村 エ 青葉村

【25】葎（よし）で作られた2本の大松明（おおたいまつ）は、社務所前から東大鳥居前に移され、点火後に東境内をねり、一気に楼門（ろうもん）をくぐり拝殿（はいでん）前に供えられる。この大松明の間を神職は本殿（ほんでん）に進み神事を行う。この祭典名を、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 茅の輪祭 イ 烏呼神事 ウ 年越祭 エ 開扉祭

【26】織田信長は、自らの産土神（うぶすながみ）を津島天王社としたと伝えられ、1558年（弘治4）には津島天王社の祭礼である天王祭を見物に訪れた記録も残っている。織田家と津島天王社は同じ紋章であるが、その紋章を次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 葵紋 イ 桐紋 ウ 藤紋 エ 木瓜紋

【27】江戸時代、旧津島村で「東御堂（ひがしみどう）」「西御堂」と呼ばれた古寺がある。「東御堂」は蓮台寺であるが、「西御堂」と呼ばれた寺院を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

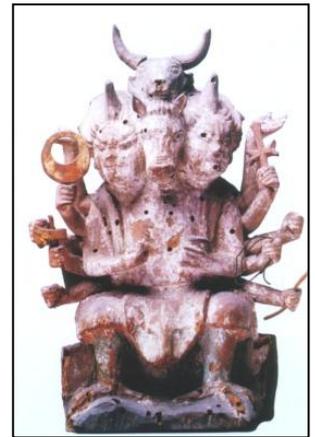
- ア 蓮慶寺 イ 西方寺 ウ 西福寺 エ 浄蓮寺

【28】江戸時代、新田開発の奨励策として、新田開発の地に対して一定の期間、年貢・諸役を免ぜられた。この間領主は検地（けんち）を行わず、開発者の作り取りとなった。この制度は何と呼ばれたか、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 鋤下年季 イ 奉公年季 ウ 新田年季 エ 年貢年季

【29】津島牛頭天王社の祭神は牛頭天王であったが、その本地仏（ほんじぶつ）とされ、病気を治す仏を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 薬師如来 イ 聖観音菩薩
ウ 地藏菩薩 エ 阿弥陀如来



【30】津島牛頭天王社は日本の二大天王社の一つであった。牛頭天王を祀っていたもう一つの神社の現在の神社名を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 北野天満宮 イ 八坂神社
ウ 春日大社 エ 石清水八幡宮

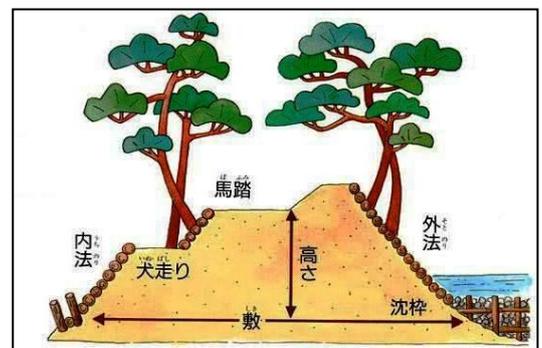
【31】『信長公記』に拠れば、織田信長が津島五ヶ村で、風流踊（ふうりゅうおどり）をした屋敷は誰の屋敷か、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 平野平左衛門
イ 河村久五郎
ウ 堀田道空
エ 大橋重一



【32】徳川家康は伊奈忠次に命じて、犬山から木曾川河口の弥富にいたる約 48 kmの巨大な堤防を造らせた。この堤防は何と呼ばれたか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 尾張堤 イ 御囲堤
ウ 領内堤 エ 木曾堤



【33】津島天王祭のときに、旧津島五ヶ村の各町の出入口の道に、しめ縄が結びつけられた2本ずつ竹が立てられます。この竹は何とよばれるか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 真柱 イ 天王竹 ウ 祭竹 エ 斎竹

【34】今市場と津島駅の南北の通りはハーキュリーズ通りと名付けられている。ハーキュリーズは津島市の姉妹都市に 1981 年になった。ハーキュリーズはアメリカ合衆国の何州にあるか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア フロリダ イ カリフォルニア ウ ジョージア エ テネシー

【35】この街道は、津島・勝幡・木田・甚目寺・新川・名古屋を結ぶ街道で、新川で美濃街道と合流していた。現在は名鉄津島線（津島一須ヶ口）がこの街道に沿って走っている。この街道は何と呼ばれたか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 三本柿街道 イ 巡見街道 ウ 津島上街道 エ 佐屋街道

【36】江戸時代には津島天王祭を行うにあたって、尾張藩から三通物（みとおりのもの）とよばれる寄進があった。三通物の米・船ともう一つは何か、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 幕 イ 太鼓 ウ 竹 エ ろうそく

【37】津島には、難読な地名がいくつかある。「菟原」は「ばいばら」、「神尾」は「かんの」と読む。「椿市」は何と読むか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア つばきいち イ つばいち ウ ちんいち エ つばし

【38】佐屋の八幡社の隣には、松尾芭蕉（まつおばしろう）ゆかりの塚がある。1694年（元禄7）5月25日、芭蕉は名古屋の門弟の沢露川（さわろせん）と佐屋の山田庄左衛門宅に一泊したときに、

「□□鳴くと人の云へばや佐屋泊」と詠んだ。

□□に入る鳥を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 雲雀
イ 水鶏
ウ 白鷺
エ 雉子



【39】江戸時代には、旧津島村の四至（東西南北）には、村を守るために仏教施設が置かれていた。それは何と呼ばれたか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 薬師堂 イ 観音堂 ウ 十王堂 エ 阿弥陀堂

【40】津島神社の本殿は、当時の清須城主の病氣平癒を祈願して寄進された。その清須城主を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 豊臣秀次
イ 福島正則
ウ 松平忠吉
エ 徳川義直



【41】現在の尾張津島天王祭の宵祭（よいまつり）には5艘の巻藁船（まきわらぶね）が出船し、朝祭には6艘の車楽船が出る。この「車楽」の読み方を、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア シャガク
- イ だんじり
- ウ だし
- エ シャらく



【42】津島の山車まつりの発祥とされる「七切祭」は、1711年（正徳元）年に始まった。この「七切祭」は、どこの神社の祭礼であるか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 大土社
- イ 山祇社
- ウ 憶感神社
- エ 市神社



【43】1868年（明治元）、明治天皇の東幸・還幸、翌年の再幸の際に佐屋宿で御休憩、御泊なされた行在所は、その後、津島の寺院に移築され、津島市指定文化財となっている。この寺院を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 興禅寺
- イ 成信坊
- ウ 浄蓮寺
- エ 浄光寺

【44】津島神社などでは「茅の輪くぐり」が行われる。これは『備後国風土記』逸文に由来するとされている。『備後国風土記』逸文で、茅の輪をつけることによって疫病を避けることができた人物を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 巨旦将来
- イ 奇稻田姫
- ウ 蘇民将来
- エ 安部清明

【45】現 愛西市出身で、後に「丸島コロンブス」と呼ばれた人物は、1881年にラッコ漁中に遭難したが、アメリカの捕鯨船に助けられ、愛知県出身者として初めて渡米して事業を行った。北米移民の先駆者の名前を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 山田長政
- イ 杉浦兼松
- ウ 津田正生
- エ 山田芳男



※設問【46】から【50】は、ア・イ・ウ・エから間違っているものを、一つ選んで、
解答用紙欄に記入してください。

【46】尾張津島天王祭についての記述で、間違っているものを、次のア～エの内から一つ
選びなさい。

- ア 尾張津島天王祭の朝祭は江戸時代には旧暦6月15日に行われていた。
- イ 市江車には鉾持衆10人が乗っている。
- ウ 津島5車の先頭は、当番車である。
- エ 市江車は、旧佐織地区から出される。

【47】尾張津島秋まつりについての記述で、間違っているものを、次のア～エの内から一
つ選びなさい。

- ア 神守地区には3輛の山車がある。
- イ 車切とは、山車を回すことである。
- ウ 今市場地区の氏神は「市神社」である。
- エ 津島市には石採車が4輛ある

【48】津島の歴史についての記述で、間違っているものを、次のア～エの内から一つ選
びなさい。

- ア 津島には古代の駅「馬津」があったとされる。
- イ 中世の紀行文『東関紀行』には「津島の渡り」のことが書かれている。
- ウ 江戸時代には、桑名と津島を結ぶ渡船があった。
- エ 津島市は、1947年（昭和22）3月に県下9番目の市として誕生した。

【49】海部地方の古寺についての記述で、間違っているものを、次のア～エの内から一
つ選びなさい。

- ア 円成寺は、関通上人ゆかりの寺院である。
- イ 甚目寺は尾張四観音の一つである。
- ウ 馬島明眼院は、江戸時代には眼病治療で著名であった。
- エ 蓮華寺は、天台宗の寺院である。

【50】佐屋街道についての記述で、間違っているものを、次のア～エの内から一つ選
びなさい。

- ア 佐屋街道は東海道「七里の渡し」の脇往還であった。
- イ 神守宿は、佐屋街道の宿場であった。
- ウ 岩塚宿と万場宿の間は、日光川の川渡しであった。
- エ 佐屋宿から桑名宿の間は、三里の渡しといわれた。

問題は以上です。受検を有難うございました。合格をお祈り申し上げます。